



家庭ごみ収集体制の見直し(週5日収集)について

家庭ごみ収集の現状と課題①

- 1 収集運搬は、燃やせるごみ(週2回)を含め、**年末年始(12月31日～1月3日)を除く、月曜日から土曜日までの週6日で実施している。**

日	月	火	水	木	金	土
1	2 紙 紙ごみ	3 ㊦ プラ容器包装	4 燃 燃やせるごみ	5	6 かん かん	7 燃 燃やせるごみ
8	9 不燃 燃やせないごみ	10 ㊦ プラ容器包装	11 燃 燃やせるごみ	12	13 PET ペットボトル	14 燃 燃やせるごみ
15	16 紙 紙ごみ	17 ㊦ プラ容器包装	18 燃 燃やせるごみ	19	20 かん かん	21 燃 燃やせるごみ
22	23 びん びん	24 ㊦ プラ容器包装	25 燃 燃やせるごみ	26	27 PET ペットボトル	28 燃 燃やせるごみ
29	30	31 ㊦ プラ容器包装				

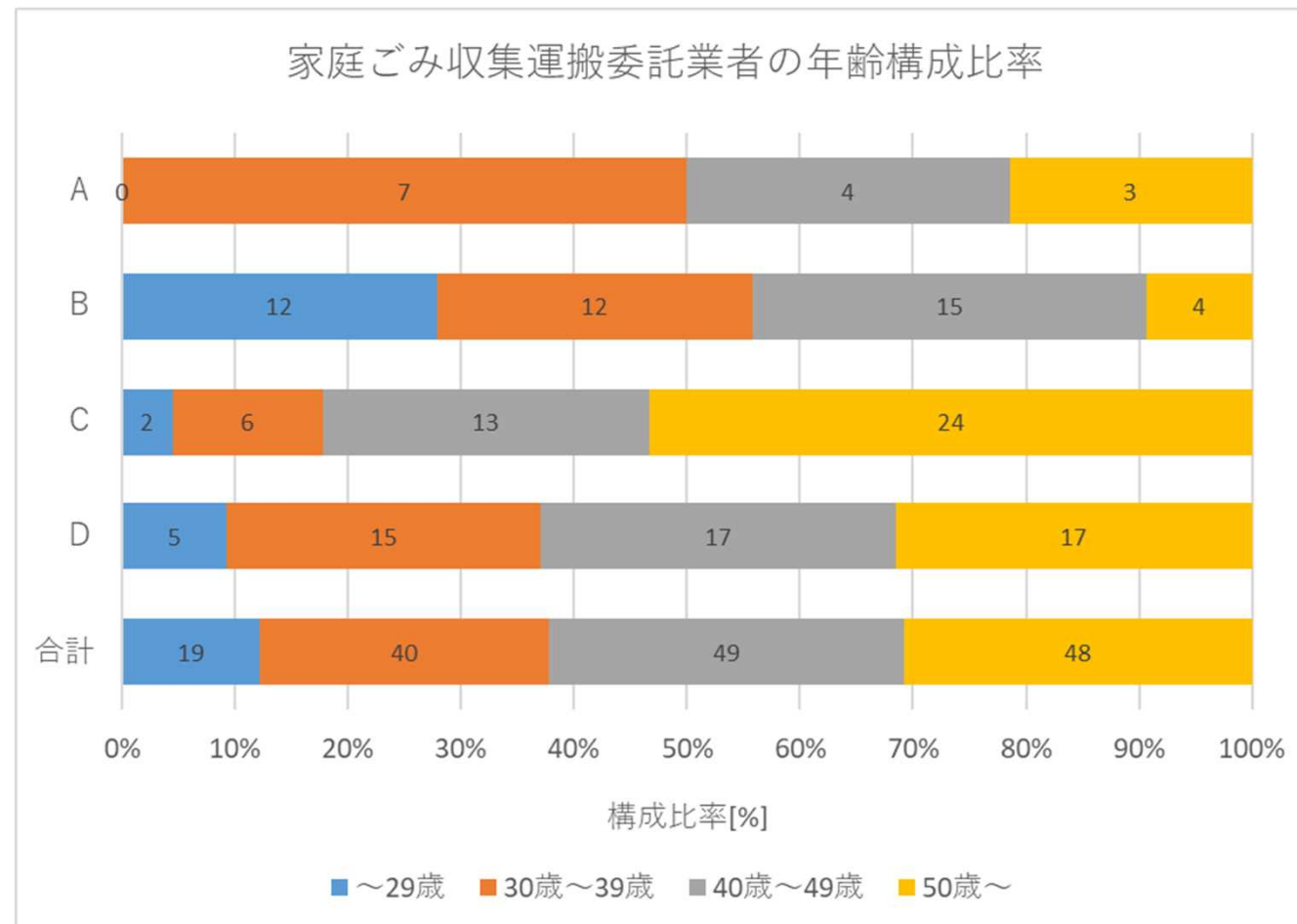
日	月	火	水	木	金	土
1	2 かん かん	3 燃 燃やせるごみ	4 紙 紙ごみ	5 ㊦ プラ容器包装	6 燃 燃やせるごみ	7
8	9 PET ペットボトル	10 燃 燃やせるごみ	11 不燃 燃やせないごみ	12 ㊦ プラ容器包装	13 燃 燃やせるごみ	14
15	16 かん かん	17 燃 燃やせるごみ	18 紙 紙ごみ	19 ㊦ プラ容器包装	20 燃 燃やせるごみ	21
22	23 PET ペットボトル	24 燃 燃やせるごみ	25 びん びん	26 ㊦ プラ容器包装	27 燃 燃やせるごみ	28
29	30	31 燃 燃やせるごみ				

現行のごみ収集カレンダー(一例)

- 2 市内を4つのエリアに分け、4事業者に家庭ごみ収集運搬業務を委託している。
- 3 **過去20年近く、区域別や区域ごとの収集曜日等について、大規模な見直しを行っていないなか、家屋や集積所の量的変化等に伴う所要時間の増減等により、1日あたりの業務量にバラつきが生じるほか、業務効率にも影響が及んでいる。**

家庭ごみ収集の現状と課題②

- 4 一部の事業者では**収集員の高齢化が進んでおり、今後更なる進行が想定され、昨今の雇用情勢等の変化に伴い、新たな担い手（若年層）の確保が困難な状況**である。



一般廃棄物処理基本計画での位置づけ

このような現状は、将来にわたり家庭ごみ収集運搬業務を持続的かつ安定的に実施していく上での重要課題と受け止め、令和3年12月に策定した「一般廃棄物処理基本計画」において、家庭ごみ収集体制の見直しについて検討することを掲げた。

基本方針3

家庭系ごみに対する具体的施策

③収集運搬体制の見直し(新規)

収集運搬委託業者の働き方改革の観点等から、収集稼働日数を週6日から週5日へ変更する等、収集運搬体制の見直しについて検討します。

県内他市町のごみ収集体制

番号	平日・土曜日収集
1	大津市
2	東近江市
3	甲賀市
4	近江八幡市
5	高島市
6	竜王町

番号	平日収集(土曜日収集なし)
1	草津市
2	長浜市
3	彦根市
4	守山市
5	栗東市
6	湖南市
7	野洲市
8	米原市
9	愛荘町
10	日野町
11	多賀町
12	豊郷町
13	甲良町

週5日収集の目的と背景

◆目的

- 1 土曜日収集に対する地域住民の意向を反映
- 2 収集日毎の業務量の偏在を解消して仕事を効率化
- 3 収集体制を確保【離職防止】しつつ、
従事員の新陳代謝【若手の雇用】を促進

◆背景（なぜ“今”なのか）

南北焼却施設の完成

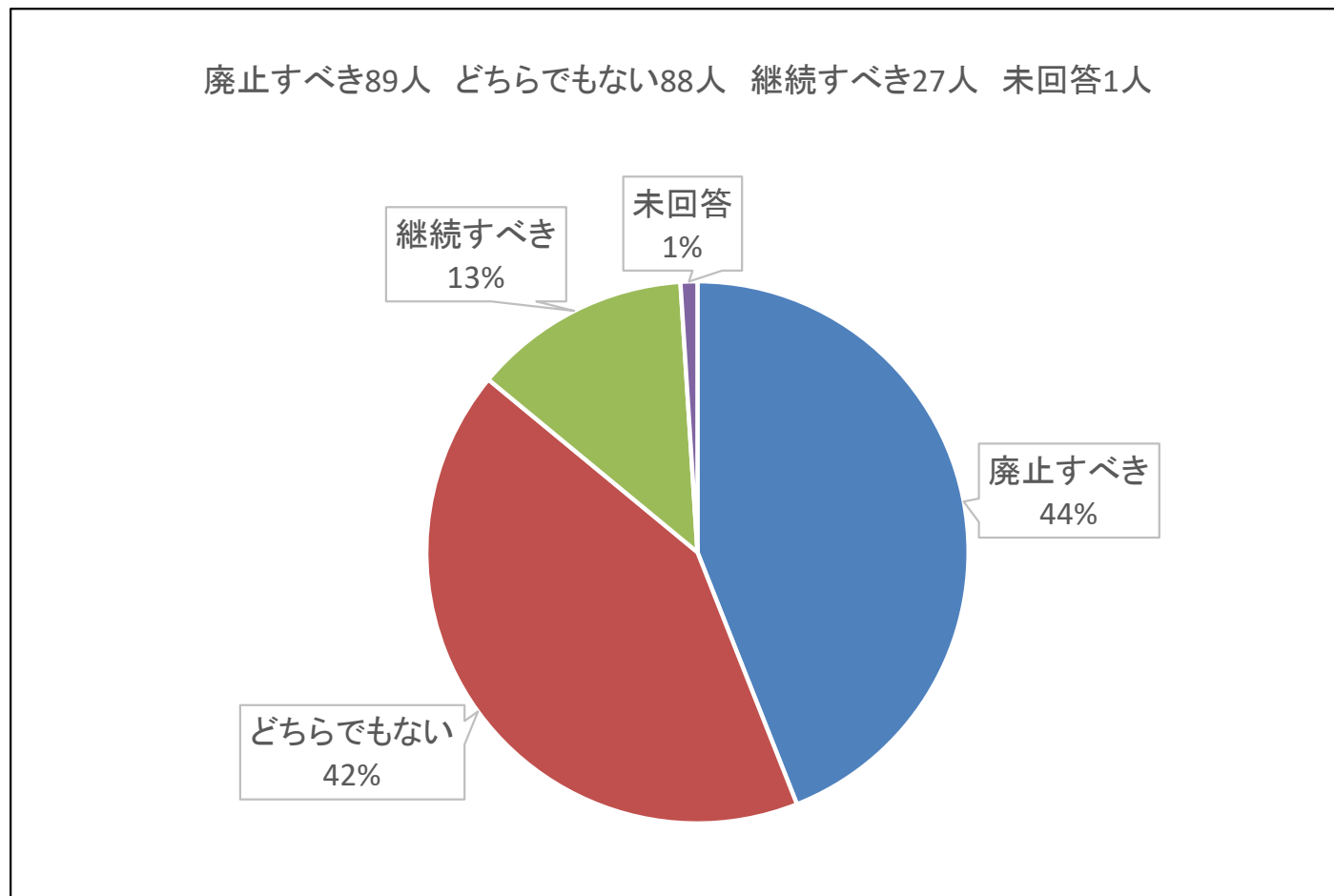
燃やせるごみの減少継続

- 高い処理能力
- 約1週間分貯留可能なごみピット
- 時間内で取り切れない心配無し

▪ [ごみ量] (R2)82,648t → (R3)80,881t → (R4)79,253t

地域住民の意向

令和4年5月下旬に行ったアンケート調査（母数205、回答数204）の結果では、「土曜日収集の廃止（週5日収集）」について回答数のうち44%が賛成であった。

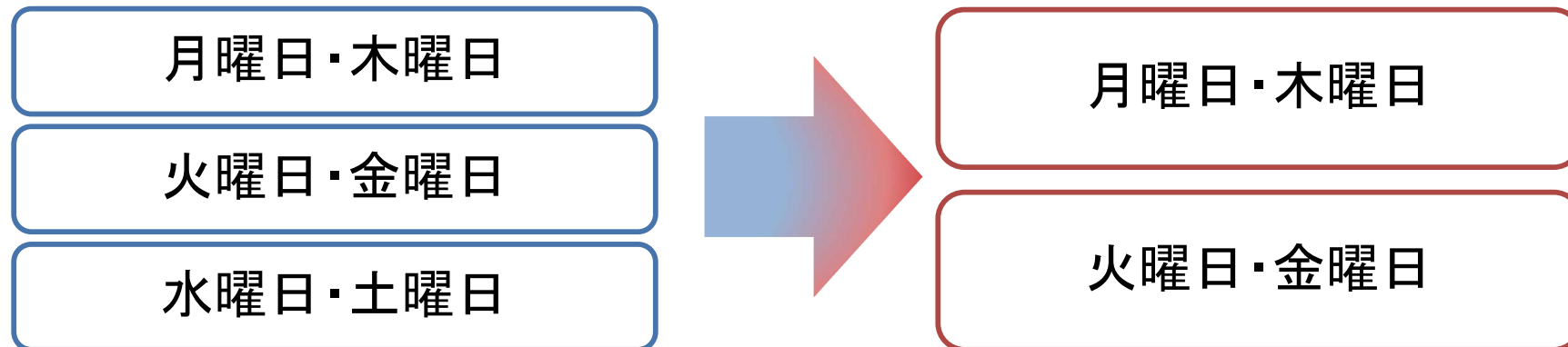


週5日収集のメリット・デメリット

	メリット	デメリット
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日に収集車両が住宅地を走行しなくなり、騒音、振動等の生活環境への影響がなくなる。 ・土曜日が休日の人々は、土曜日にごみ当番を負担と感じる意見があるため、土曜日収集を廃止することで掃除等しなくても良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日が休日の人々や共働きの世帯にとっては、時間に余裕をもってごみを排出できるため、廃止することにより利便性の低下を招く。 ・ごみ排出曜日の変更に対応しきれない市民がいた場合、集積所に残り物等が残り、当番の方が困る。
収集業	<ul style="list-style-type: none"> ・週5日収集の実施により、完全週休2日制(土・日)となり、安定的な人材の確保につながる。 ・収集日の見直しにより、効率的な収集体制を再構築することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から金曜日までに収集が集約されるため、1日あたりの施設搬入量(収集量)が増加する。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の収集体制では収集曜日の偏りがあるが、週5日収集の実施により各学区・地域で収集曜日を再設定できる。 ・土曜日に取り漏れ・後出しの対応が基本的には不要となり、職員の負担軽減となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ排出曜日の変更の周知が行き届かず、集積所に収集対象でないごみが排出される。 ・収集日変更による関係者への広報や周知に期間とコストを要する。

週5日収集のルール

①燃やせるごみを2グループに分けること。



②1つの学区(地域)に対して排出する品目は1品目であること。

③収集日程は既存の学区(地域)単位で統一すること。

④既存の各品目において収集回数に変更がないこと。

※可燃:週2回

プラ容器:週1回

不燃物:月1回

かん・ペットボトル・紙ごみ:月2回

ごみ収集カレンダー（一例）

日	月	火	水	木	金	土
1	2 紙 紙ごみ	3 方 プラ容器包装	4 燃 燃やせるごみ	5	6 かん かん	7 燃 燃やせるごみ
8	9 不燃 燃やせないごみ	10 方 プラ容器包装	11 燃 燃やせるごみ	12	13 PET ペットボトル	14 燃 燃やせるごみ
15	16 紙 紙ごみ	17 方 プラ容器包装	18 燃 燃やせるごみ	19	20 かん かん	21 燃 燃やせるごみ
22	23 びん びん	24 方 プラ容器包装	25 燃 燃やせるごみ	26	27 PET ペットボトル	28 燃 燃やせるごみ
29	30	31 方 プラ容器包装				

週6収集（現行）

日	月	火	水	木	金	土
1	2 方 プラ容器包装	3 燃 燃やせるごみ	4 かん かん	5 紙 紙ごみ	6 燃 燃やせるごみ	7
8	9 方 プラ容器包装	10 燃 燃やせるごみ	11 PET ペットボトル	12 不燃 燃やせないごみ	13 燃 燃やせるごみ	14
15	16 方 プラ容器包装	17 燃 燃やせるごみ	18 かん かん	19 紙 紙ごみ	20 燃 燃やせるごみ	21
22	23 方 プラ容器包装	24 燃 燃やせるごみ	25 PET ペットボトル	26 びん びん	27 燃 燃やせるごみ	28
29	30 方 プラ容器包装	31 燃 燃やせるごみ				

週5収集（見直し後）

業務内容の見直しへ

平日に比べ多くの車両・人員を必要としてきた土曜日の取りやめは、業務内容の見直しに有効である。

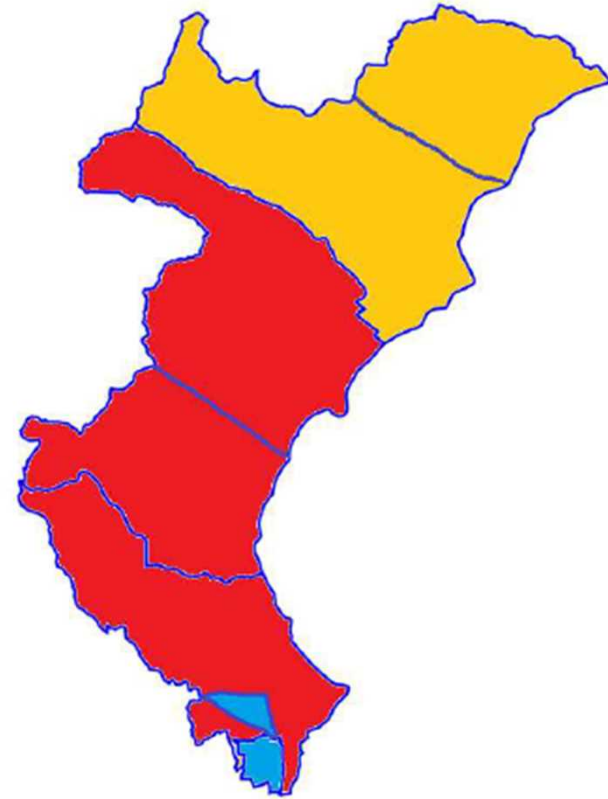
事業者	週6日収集体制 土曜日	週6日体制 平日	週5日収集体制 平日
A	7台	6台	7台
B	25台	23台	27台
C	17台	12台	15台
D	20台	13台	15台
合計	69台	54台	64台

稼働台数の比較（週6日収集体制平日・土曜日、週5日収集体制）

収集作業の効率化へ



週6日収集



週5日収集



・・・燃やせるごみ

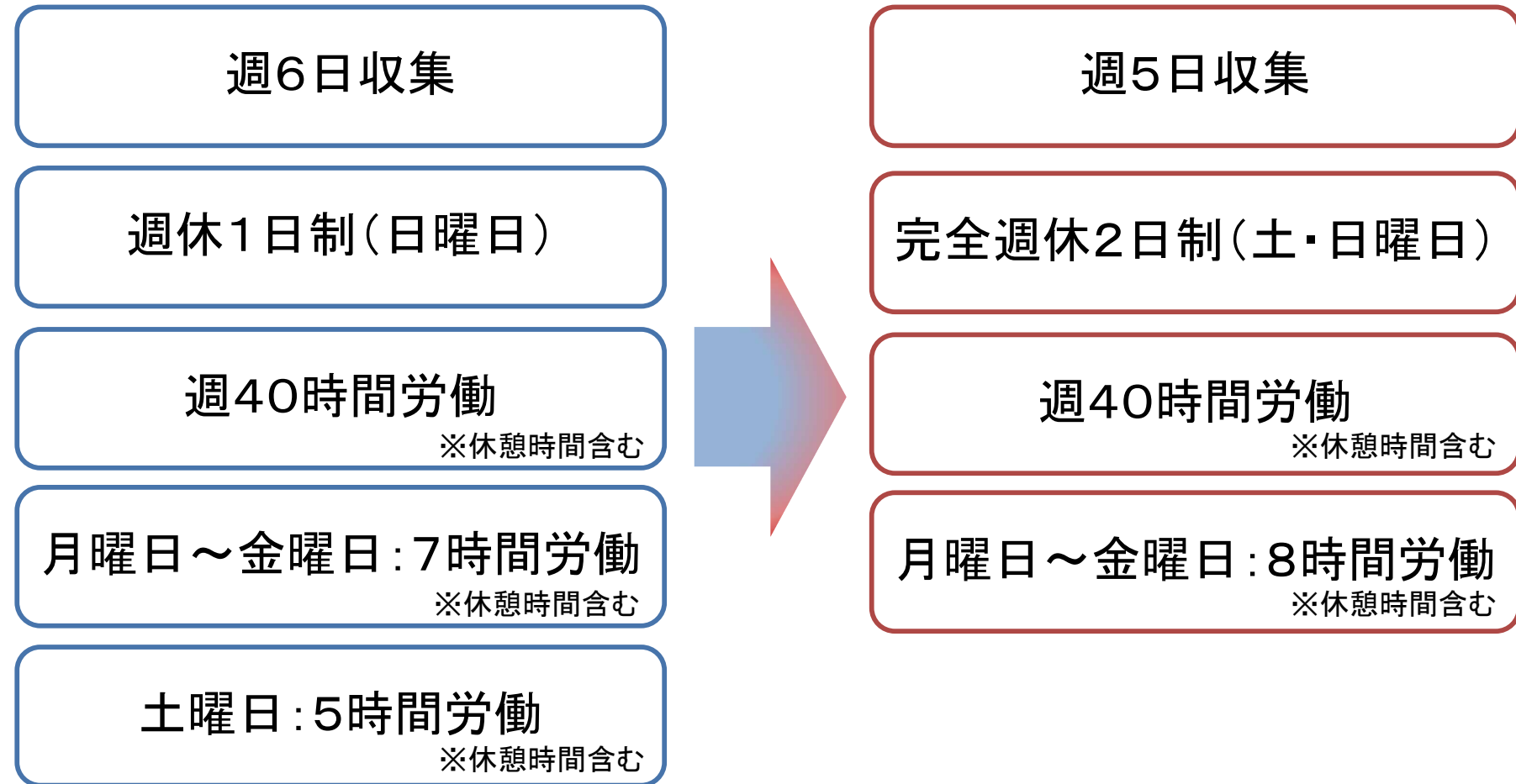


・・・プラスチック製容器包装



・・・びん

収集員の働き方改善へ



収集曜日の変更

本市の分別区分として7品目設定しているが、大半の学区〔地域〕において、分別品目の収集曜日が変更となる。

収集日の変更規模	関係学区〔地域〕数	説明
収集日すべて変更	16学区	小松の一部、和邇の一部、葛川、伊香立、真野、真野北、仰木の里、坂本、下阪本、山中比叡平、藤尾、平野、膳所、富士見、石山、南郷
6収集日の変更	5学区	和邇の一部、唐崎、滋賀、逢坂、中央
5収集日の変更	3学区	小松の一部、木戸、瀬田東
4収集日の変更	11学区	和邇の一部、小野、堅田、仰木、雄琴、日吉台、晴嵐、大石、田上、上田上、青山
1収集日の変更	1学区	瀬田
収集日変更なし	3学区	長等、瀬田北、瀬田南

大津市の課題

◆効果（影響）

- ①収集ルート（経路）の効率化
- ②一部の地域で**収集時刻が変わる**恐れ

◆課題

住民への周知徹底（収集日変更を伝える対策・自治会＋α）

今後のスケジュール（周知）

令和6年10月～ 週5日収集の開始

